

成果指標				
成果指標	漁業近代化資金の利子補給件数(累計数)			
指標設定の考え方	事業効果として、資金借受者の金利負担を軽減し、融資が円滑に行われたかどうかを測定するため、利子補給件数(累計額)を指標値とする。(目標値は設定しない。)			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	50	50	50	0
実 績	53	50	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各漁協から出された融資に対する利子補給を適切に行えた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	漁業者及び漁業団体へ利子補給事業として不可欠であり、引き続き適切に事業の執行に努め、併せて漁業近代化資金制度の周知を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題